

表 4-3 看護職の患者把握の内容とデータ数 (つづき) (%)

カテゴリー	ラベル	度数		一次情報		追加情報	
管理情報	入院形態	35	77	34 (97.1)	72 (93.5)	1 (2.9)	5 (6.5)
管理情報	療養環境	17		15 (88.2)		2 (11.8)	
管理情報	ベッド移動の経緯・経過	9		8 (88.9)		1 (11.1)	
管理情報	ベッド移動	6		6 (100.0)		0 (0.0)	
管理情報	患者の動態:手術中	6		6 (100.0)		0 (0.0)	
管理情報	患者の動態:外泊	3		3 (100.0)		0 (0.0)	
管理情報	クリティカルパスの使用	1		0 (0.0)		1 (100.0)	
リスク	事故:転倒の経験	11	39	11 (100.0)	37 (94.9)	0 (0.0)	2 (5.1)
リスク	感染症	8		6 (75.0)		2 (25.0)	
リスク	事故リスクの予測	6		6 (100.0)		0 (0.0)	
リスク	リスクの予測と対応	6		6 (100.0)		0 (0.0)	
リスク	事故リスクの予測と対応	5		5 (100.0)		0 (0.0)	
リスク	リスクの予測	3		3 (100.0)		0 (0.0)	
		5261	5261	4959 (94.3)	4959 (94.3)	302 (5.7)	302 (5.7)

表 5 各病棟の患者把握の状況

n = 実在患者数	患者の背景	患者の状態	家族の情報	医療情報	治療内容	看護情報	管理情報	リスク	計
E-1 n = 56	49	92	3	110	67	33	11	2	367
E-2 n = 56	133	140	26	102	85	39	4	3	532
E-3 n = 63	148	132	38	154	93	60	5	5	635
F-1 n = 27	87	126	42	91	43	61	6	9	465
F-2 n = 30	65	156	33	128	107	37	7	6	539
F-3 n = 28	37	33	1	128	84	36	11	0	330
G-1 n = 34	123	159	75	201	135	67	7	2	769
G-2 n = 30	129	185	61	104	115	75	11	4	684
G-3 n = 25	144	313	79	199	114	68	15	8	940
計	915	1336	358	1217	843	476	77	39	5261

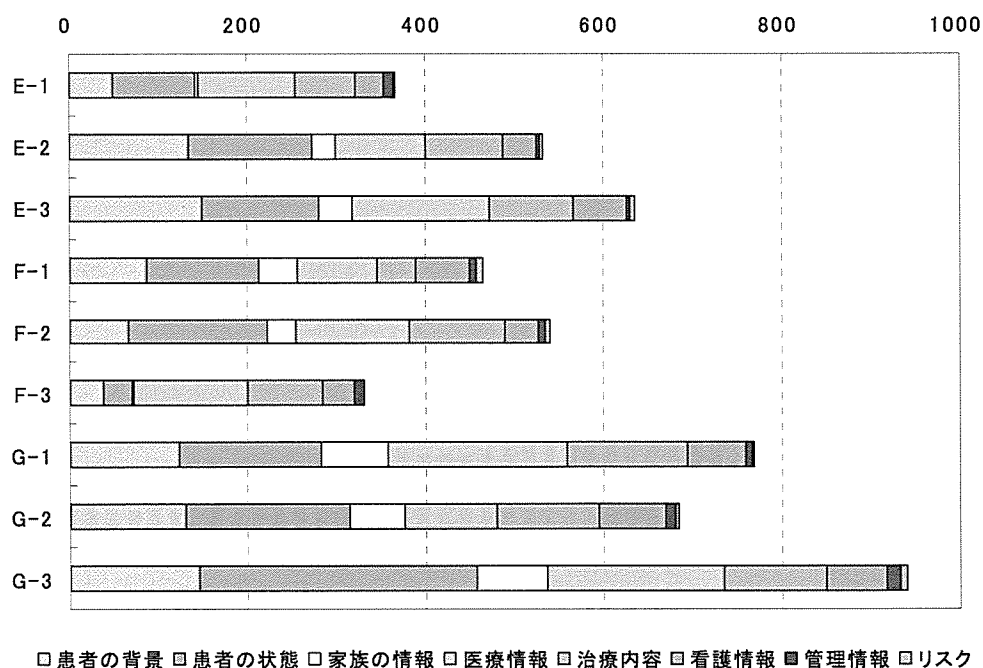


図 1 各病棟の患者把握の状況 (データ数)

各病棟のデータ数は、E-1 病棟 367 データ、E-2 病棟 532 データ、E-3 病棟 635 データ、F-1 病棟 465 データ、F-2 病棟 539 データ、F-3 病棟 330 データ、G-1 病棟 769 データ、G-2 病棟 684 データ、G-3 病棟 940 データであった（表 5、図 1）。

患者別のデータ数は、1 から 54 まで平均 17.3 データであり、各病棟別のデータ数は、表 6 および図 2 のとおりであった。

表 6 各病棟の患者別データ数

	n = 患者数	最小	最大	平均	中央値	最頻値	SD
全体	n = 349	1	54	17.3	16.0	11.0	10.6
E-1	n = 56	1	17	6.9	6.0	6.0	3.8
E-2	n = 56	1	22	9.2	7.0	4.0	5.8
E-3	n = 63	1	19	9.8	10.0	12.0	3.5
F-1	n = 27	1	30	17.2	17.0	13.0	6.8
F-2	n = 30	4	28	17.4	18.0	21.0	6.1
F-3	n = 28	2	19	11.0	11.0	11.0	4.4
G-1	n = 34	6	35	20.8	20.0	19.0	7.6
G-2	n = 30	6	39	22.1	21.0	32.0	7.3
G-3	n = 25	15	54	34.8	34.0	29.0	10.0

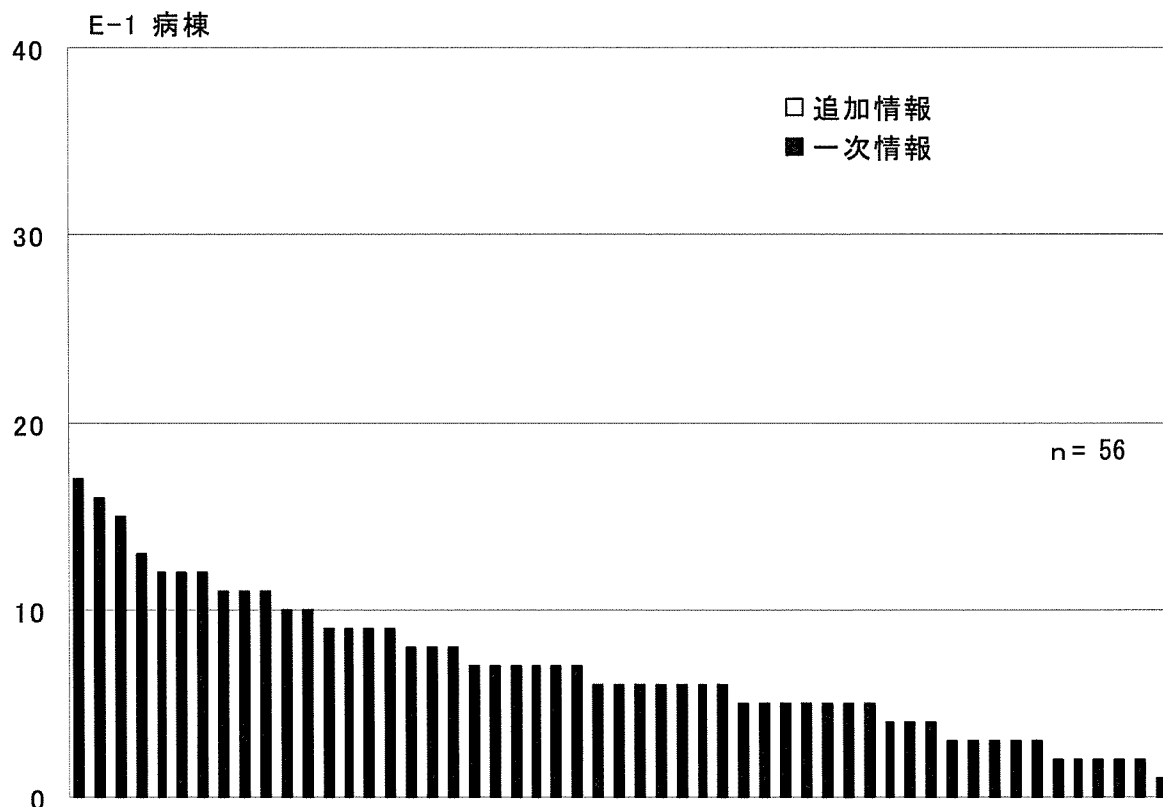


図 2-1 E-1 病棟の患者別データ数

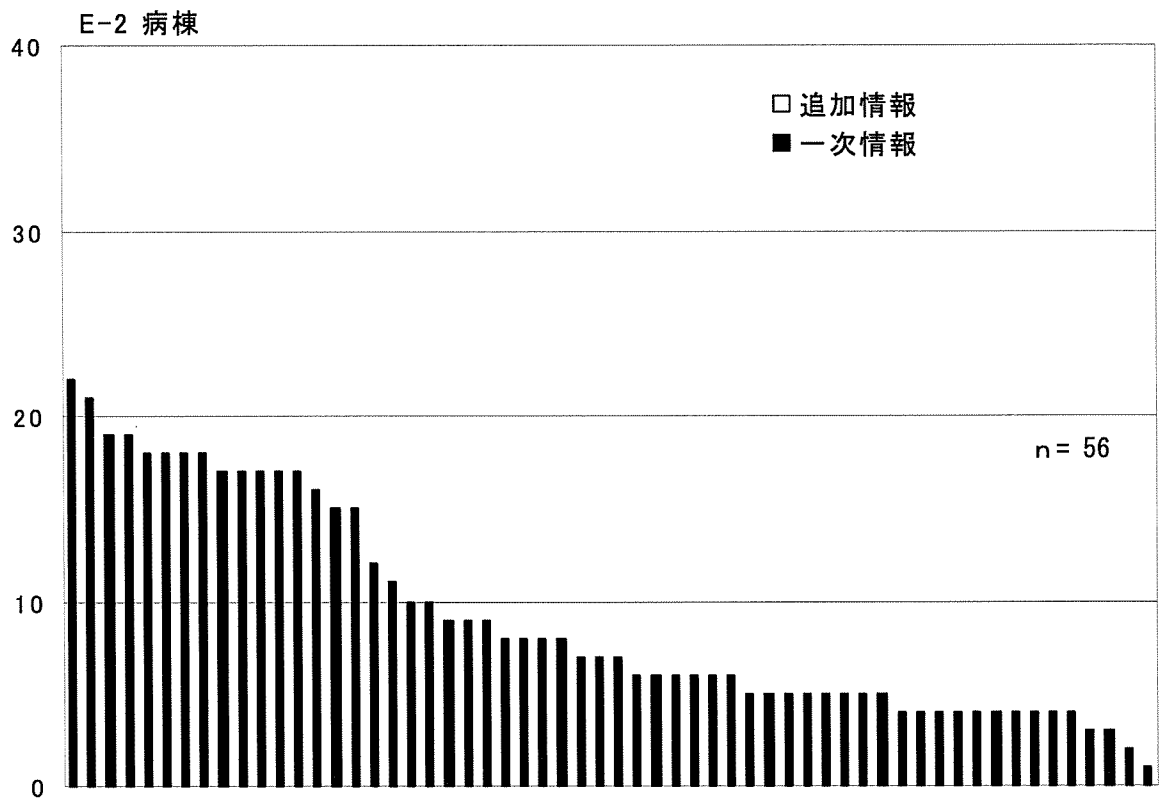


図 2-2 E-2 病棟の患者別データ数

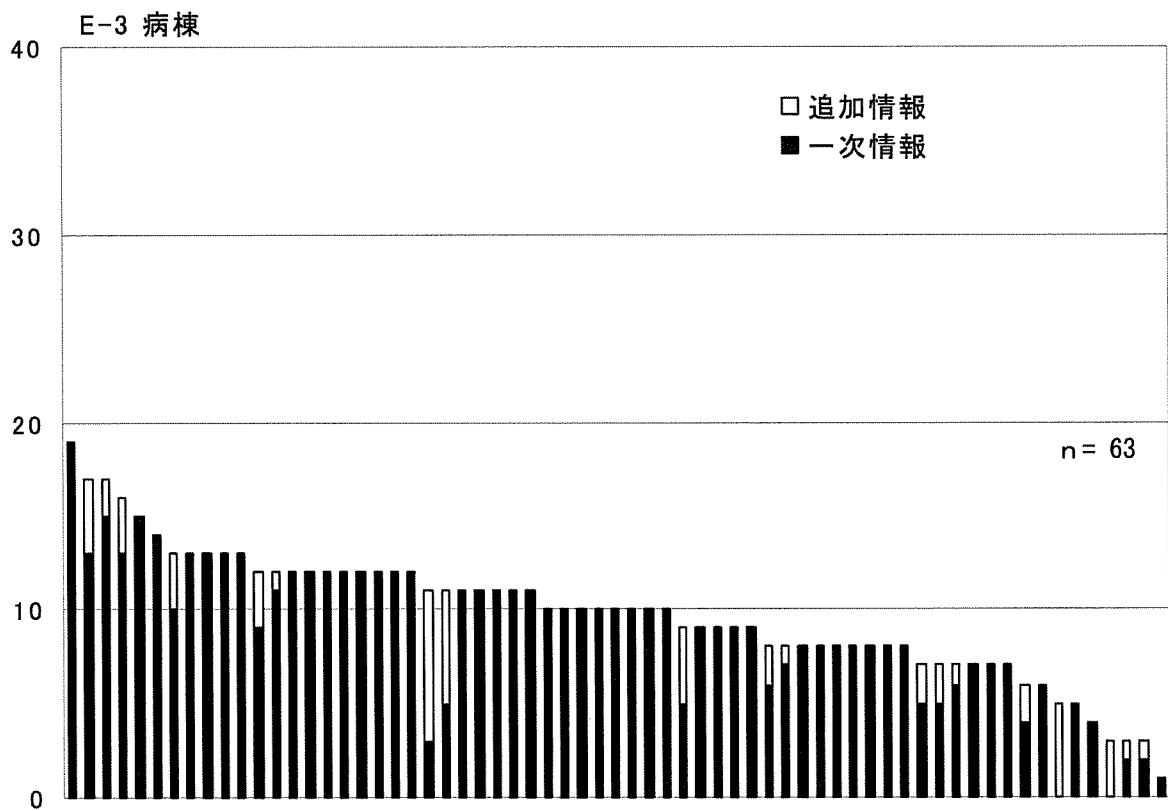


図 2-3 E-3 病棟の患者別データ数

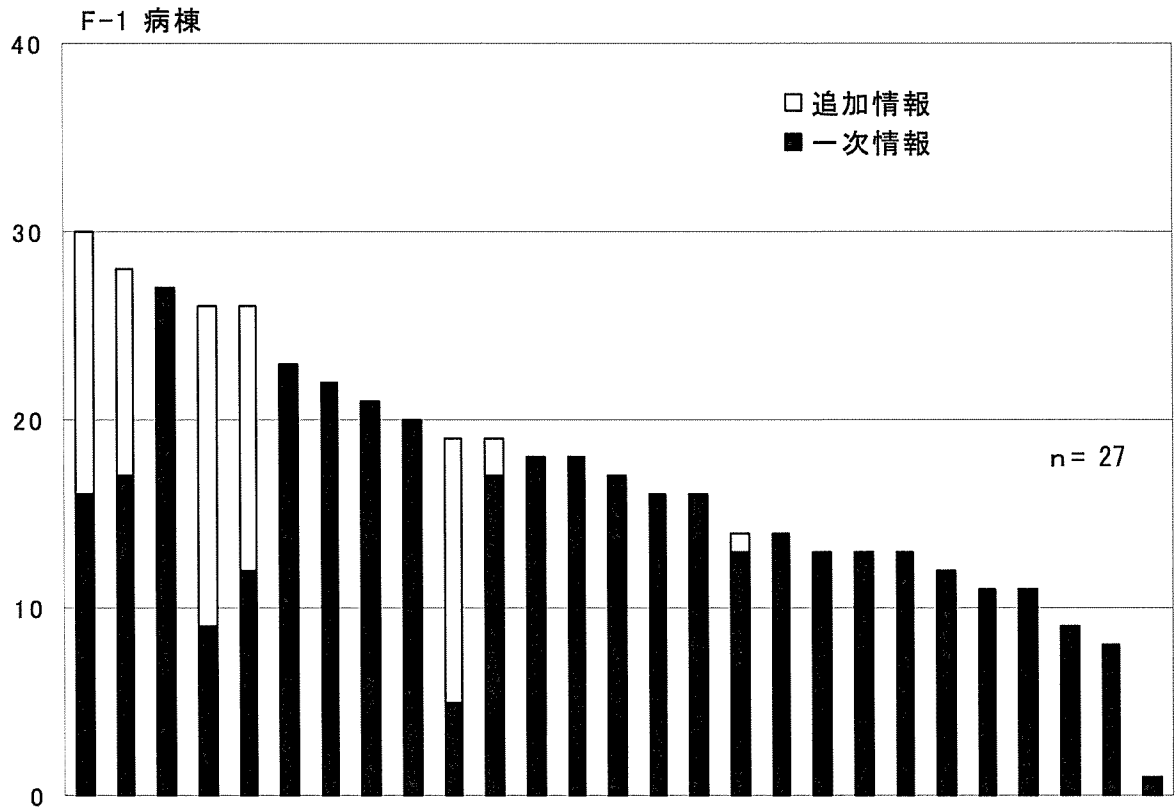


図 2-4 F-1 病棟の患者別データ数

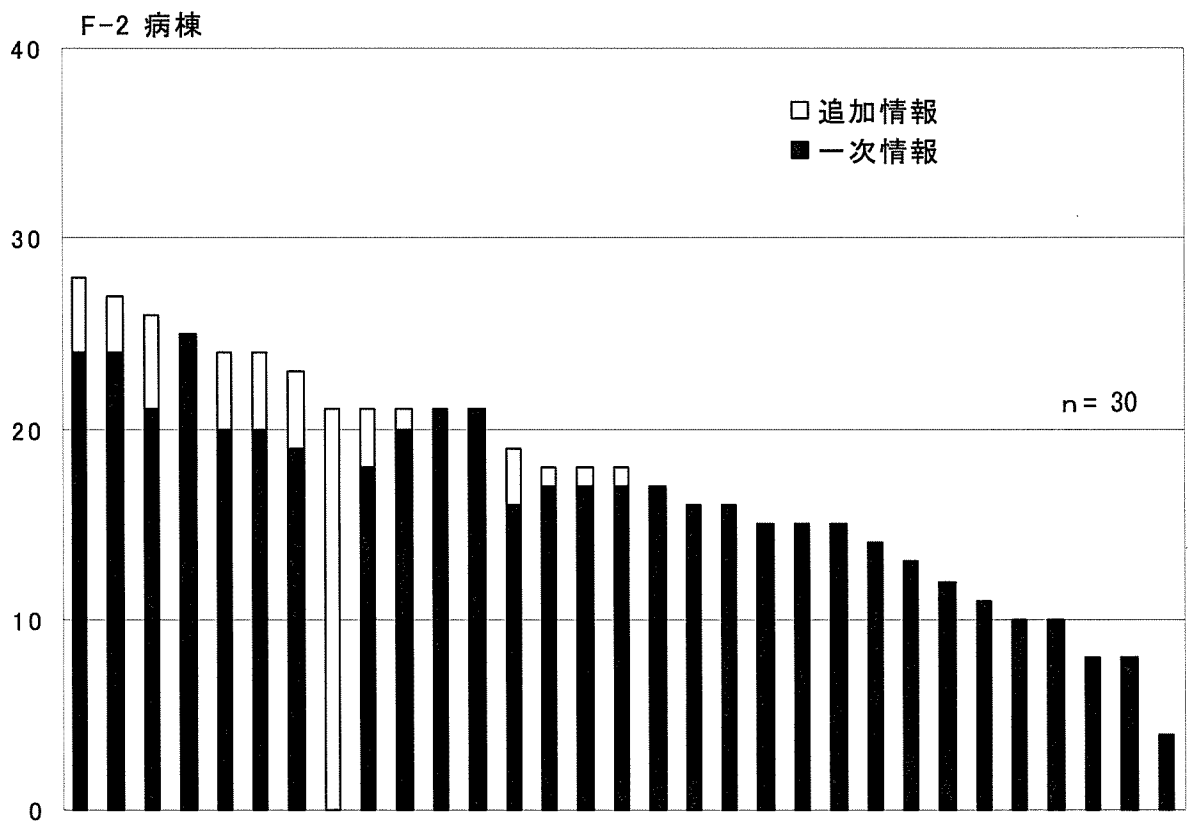


図 2-5 F-2 病棟の患者別データ数

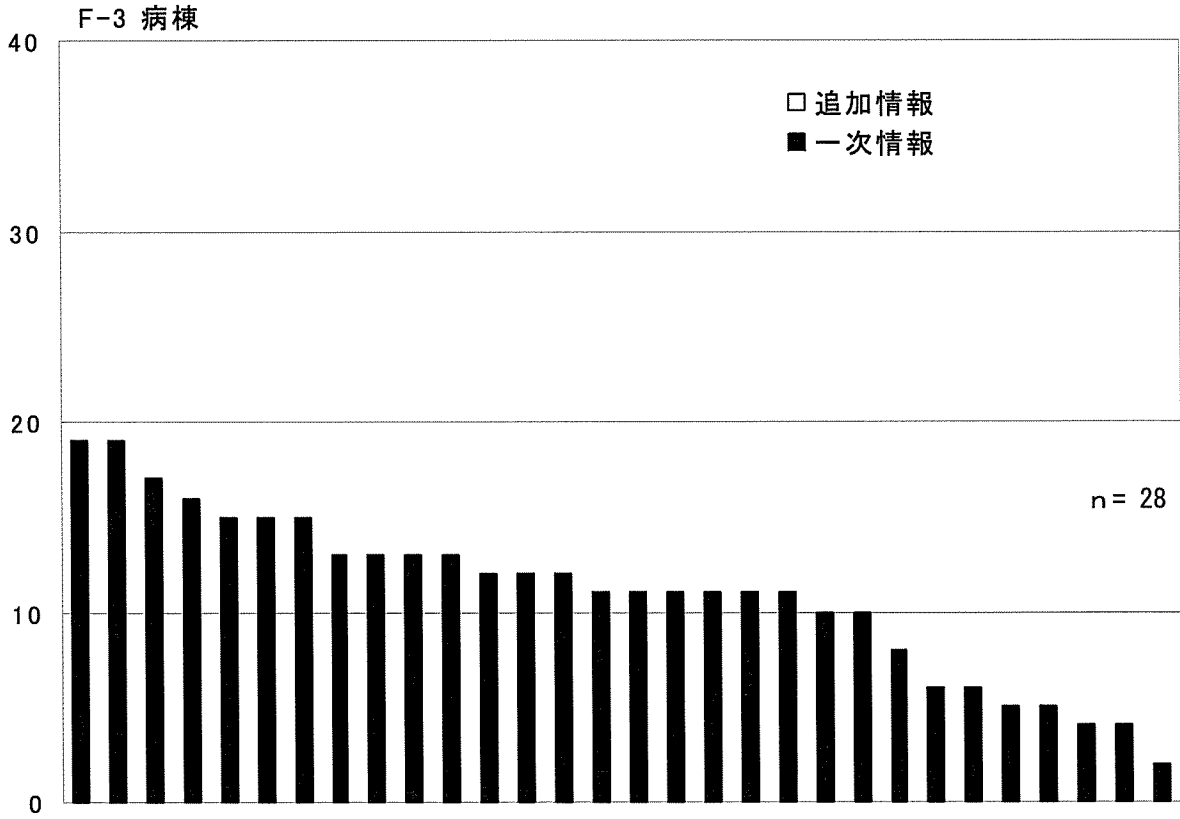


図 2-6 F-3 病棟の患者別データ数

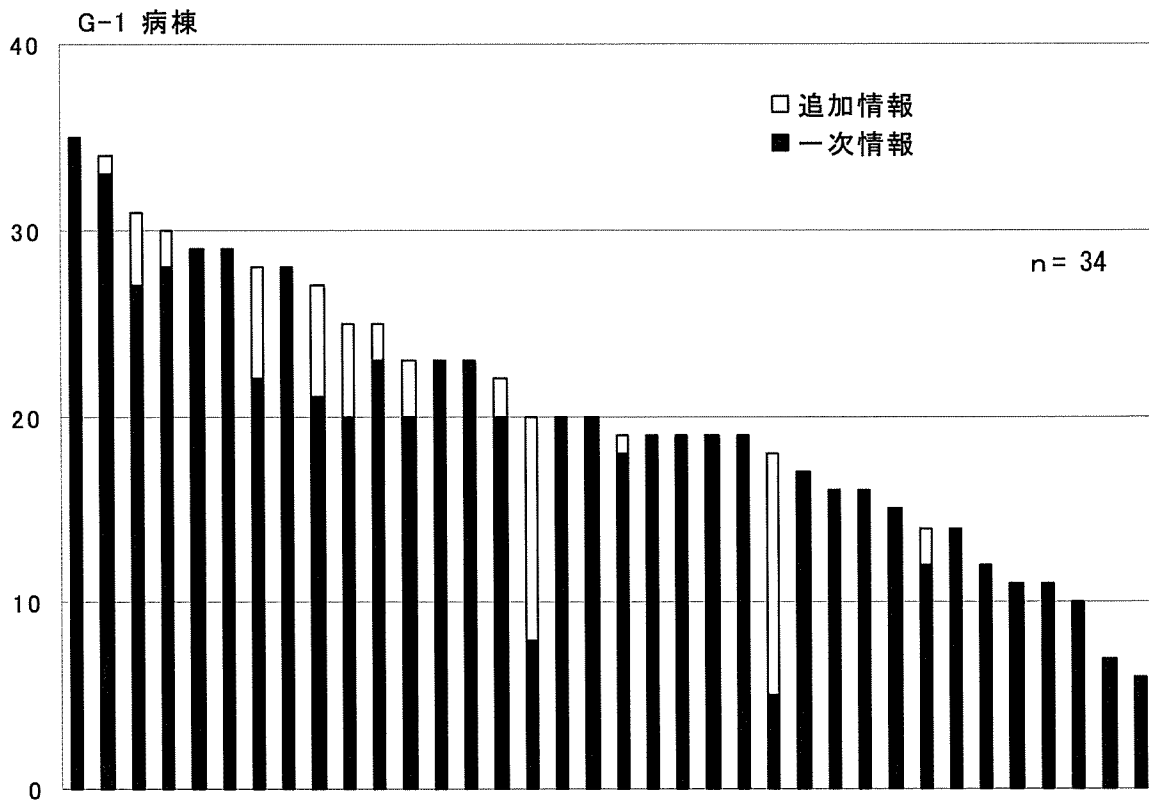


図 2-7 G-1 病棟の患者別データ数

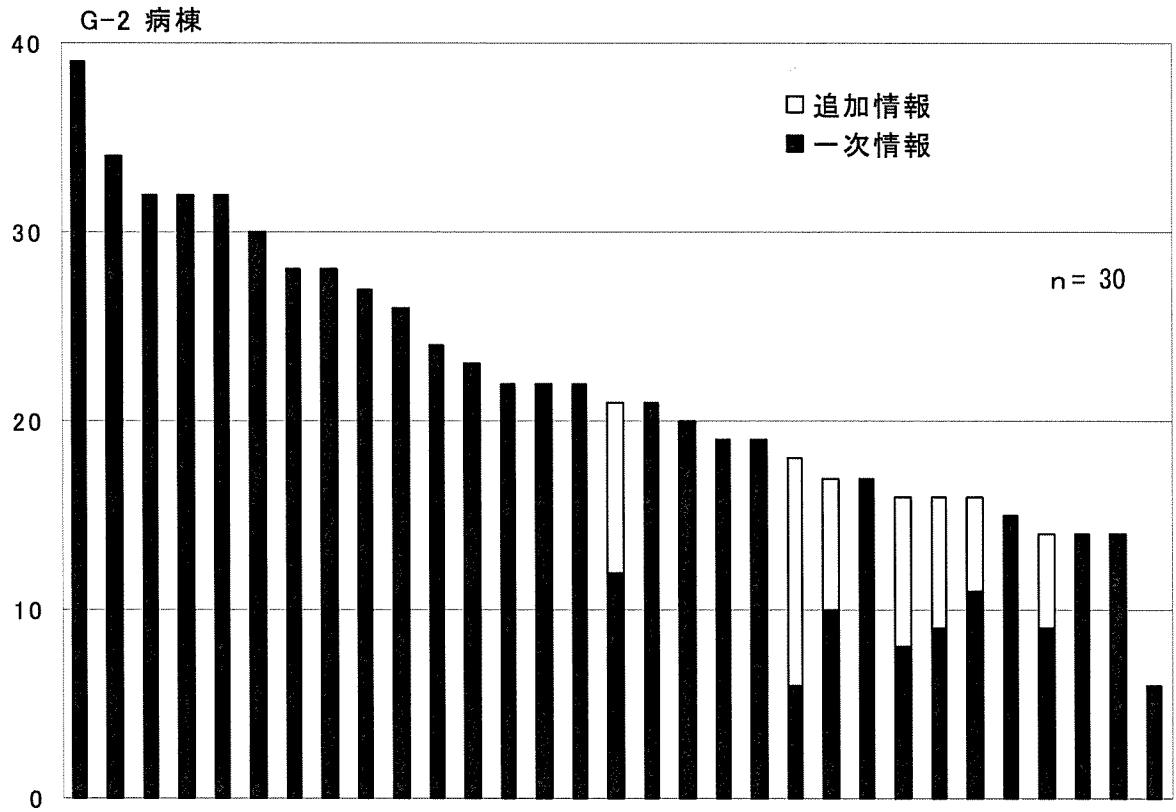


図 2-8 G-2 病棟の患者別データ数

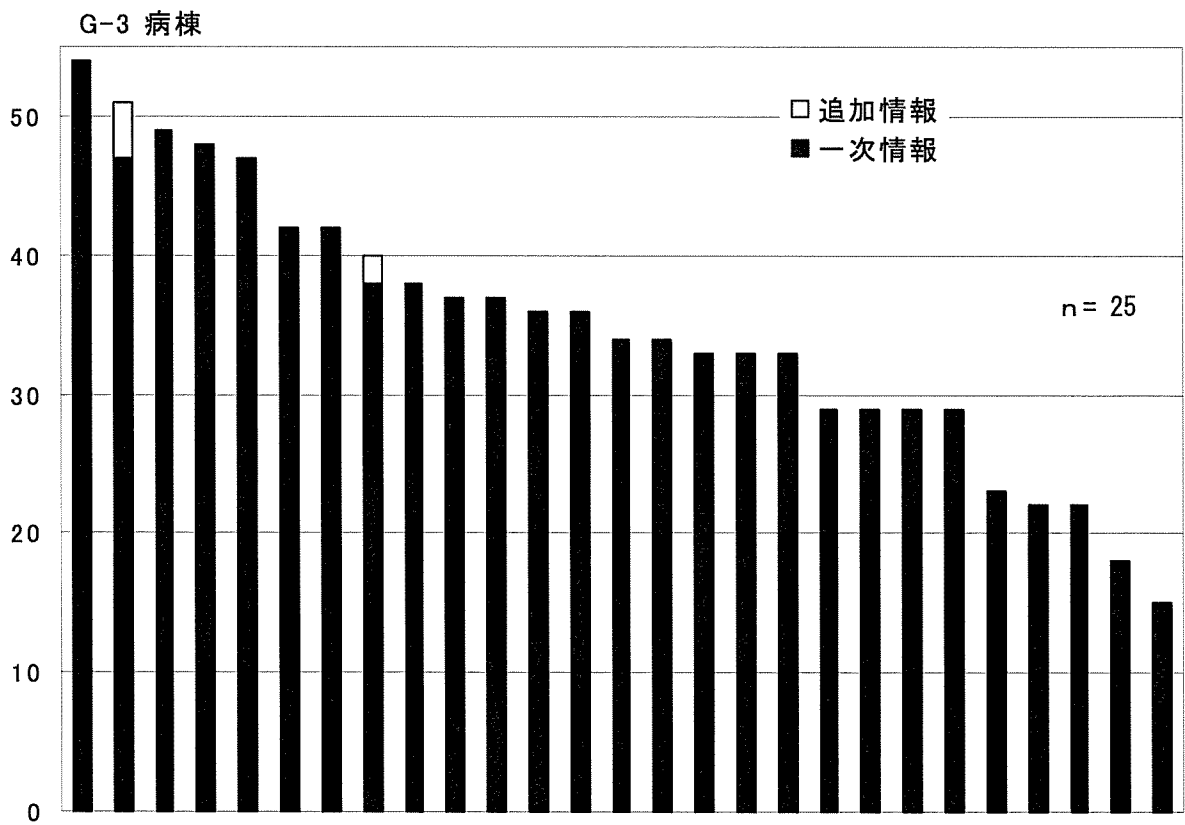


図 2-9 G-3 病棟の患者別データ数

全ラベルのうち、データ数の多かったものは、[疾患名・入院理由] [年齢・年代] [性別] [家族の状況] [患者の状態:移動レベル] などであった (表 7)。

表 7 患者把握データ [ラベル] 上位 20

	ラベル	度数		ラベル	度数
1位	疾患名・入院理由	615	11位	入院前の経過	127
2位	年齢・年代	261	12位	治療内容:手術	124
3位	性別	255	13位	患者の状態:症状	104
4位	家族の状況	234	14位	入院日・入院後日数	100
5位	患者の状態:移動レベル	166	15位	今後の見通し	94
6位	退院の見通し	137	16位	治療経過	89
7位	診療科名	135	17位	患者の状態:コンプライアンス	86
8位	日常生活の状況:食事	134	18位	入院中の経過	79
9位	患者の状態:身体機能	133	19位	治療方針	78
10位	医学的所見	130	20位	患者の状態:既往症	66

4. 看護職役割別の患者把握の内容とデータ数

看護職役割別にみた患者把握の状況は、全体では、管理者の患者把握のデータ数が多かった (表 9、図 3)。しかし、G病院ではスタッフの方が患者把握のデータ数が多かった。

表 9 看護職役割別の患者把握の状況

	n = 患者数	患者の背景	患者の状態	家族の情報	医療情報	治療内容	看護情報	管理情報	リスク	計
全体		915	1336	358	1217	843	476	77	39	5261
病棟管理者	n = 345	595	** 546	** 236	** 638	351	** 275	** 48	19	2708
スタッフ	n = 287	320	790	122	579	492	201	29	20	2553
E-1		49	92	3	110	67	33	11	2	367
病棟管理者	n = 52	45	** 28	** 2	75	* 37	27	** 7	2	223
スタッフ	n = 26	4	64	1	35	30	6	4	0	144
E-2		133	140	26	102	85	39	4	3	532
病棟管理者	n = 57	113	** 35	** 16	80	** 46	12	** 4	0	306
スタッフ	n = 29	20	105	10	22	39	27	0	3	226
E-3		148	132	38	154	93	60	5	5	635
病棟管理者	n = 63	127	** 91	31	66	** 52	* 48	* 5	4	424
スタッフ	n = 57	21	41	7	88	41	12	0	1	211
F-1		87	126	42	91	43	61	6	9	465
病棟管理者	n = 27	56	* 55	* 25	44	15	* 42	** 3	4	244
スタッフ	n = 28	31	71	17	47	28	19	3	5	221
F-2		65	156	33	128	107	37	7	6	539
病棟管理者	n = 30	38	** 72	22	66	53	21	4	3	279
スタッフ	n = 30	27	84	11	62	54	16	3	3	260
F-3		37	33	1	128	84	36	11	0	330
病棟管理者	n = 26	13	** 24	0	81	40	* 25	6	0	189
スタッフ	n = 27	24	9	1	47	44	11	5	0	141
G-1		123	159	75	201	135	67	7	2	769
病棟管理者	n = 35	67	** 48	* 44	** 77	24	** 28	5	1	294
スタッフ	n = 35	56	111	31	124	111	39	2	1	475
G-2		129	185	61	104	115	75	11	4	684
病棟管理者	n = 30	50	52	** 41	** 47	41	30	4	0	265
スタッフ	n = 30	79	133	20	57	74	45	7	4	419
G-3		144	313	79	199	114	68	15	8	940
病棟管理者	n = 25	86	* 141	** 55	** 102	43	** 42	10	5	484
スタッフ	n = 25	58	172	24	97	71	26	5	3	456

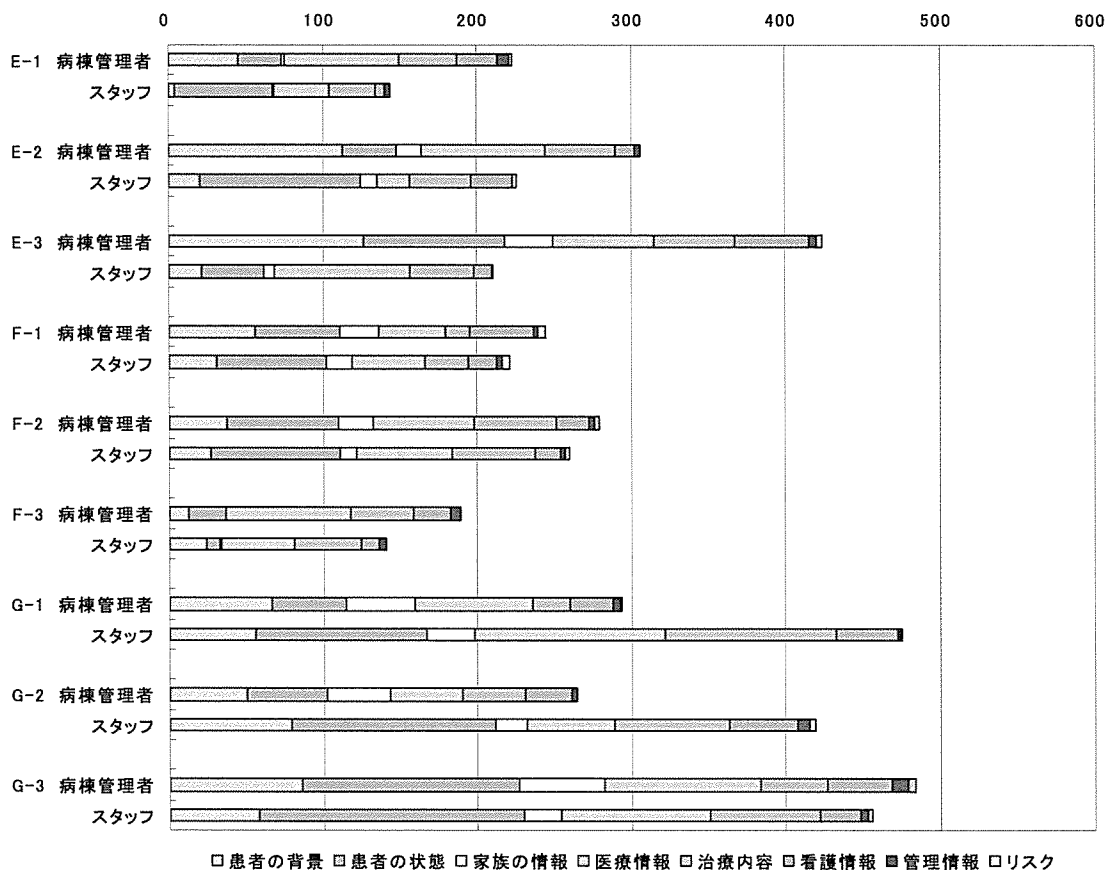


図3 各病棟の看護職役割別患者把握のデータ数

管理者の把握の内容は、【患者の背景】595 データ (22.0%)、【患者の状態】546 データ (20.2%)、【家族の情報】236 データ (8.7%)、【医療情報】638 データ (23.6%)、【治療内容】351 データ (13.0%)、【看護情報】275 データ (10.2%)、【管理情報】48 データ (1.8%)、【リスク】19 データ (0.7%) であった。

スタッフの把握の内容は、【患者の背景】320 データ (12.5%)、【患者の状態】790 データ (30.9%)、【家族の情報】122 データ (4.8%)、【医療情報】579 データ (22.7%)、【治療内容】492 データ (19.3%)、【看護情報】201 データ (7.9%)、【管理情報】29 データ (1.1%)、【リスク】20 データ (0.8%)、であった。

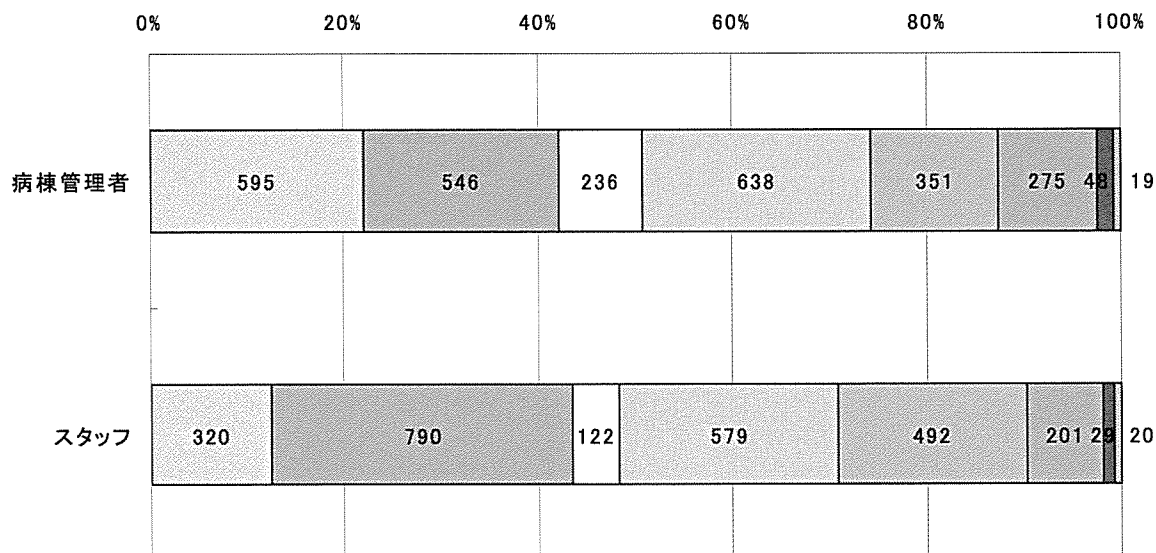
管理者とスタッフの把握内容カテゴリの順位に違いはなかった。

管理者とスタッフの把握数を比較すると、【患者の背景】【家族の情報】【看護情報】【管理情報】のデータ数は、管理者の方が多く、【患者の状態】【治療内容】のデータ数は、スタッフの方が多かった。

看護職役割別にみた患者把握の内容の割合は、図4のとおりであった。

管理者の患者把握データのうちラベル数の多かったものは、[疾患名・入院理由][年齢・年代][性別][家族の状況][診療科名][退院の見通し]の順であった。

スタッフの患者把握データのうちラベル数の多かったものは、[疾患名・入院理由][患者の状態：移動レベル][日常生活の状況：食事][患者の状態：症状][医学的所見]の順であった(表10)。



□患者の背景 □患者の状態 □家族の情報 □医療情報 □治療内容 □看護情報 ■管理情報 □リスク

図4 看護職役割別患者把握の内容の割合

表10 看護職役割別 患者把握データ [ラベル] 上位20

病棟管理者		データ数	スタッフ		データ数
1位	疾患名・入院理由	330	1位	疾患名・入院理由	285
2位	年齢・年代	198	2位	患者の状態:移動レベル	100
3位	性別	182	3位	日常生活の状況:食事	83
4位	家族の状況	158	4位	患者の状態:症状	77
5位	診療科名	84	5位	医学的所見	77
6位	退院の見通し	84	6位	家族の状況	76
7位	入院前の経過	76	7位	性別	73
8位	治療内容:手術	74	8位	患者の状態:身体機能	72
9位	今後の見通し	67	9位	年齢・年代	63
10位	患者の状態:移動レベル	66	10位	患者の状態:コンプライアンス	61
11位	入院日・入院後日数	64	11位	退院の見通し	53
12位	患者の状態:身体機能	61	12位	入院前の経過	51
13位	医学的所見	53	13位	診療科名	51
14位	日常生活の状況:食事	51	14位	治療内容:与薬	51
15位	治療方針	45	15位	治療経過	50
16位	患者の背景	40	16位	治療内容:手術	50
17位	治療経過	39	17位	患者の反応	49
18位	患者の状態:ADL	35	18位	入院中の経過	44
19位	入院中の経過	35	19位	治療内容:処置	43
20位	手術日・手術後日数	35	20位	患者の状態:行動様式	38

看護職役割別病棟別の患者別のデータ数は、図 5-1～9 のとおりであった。

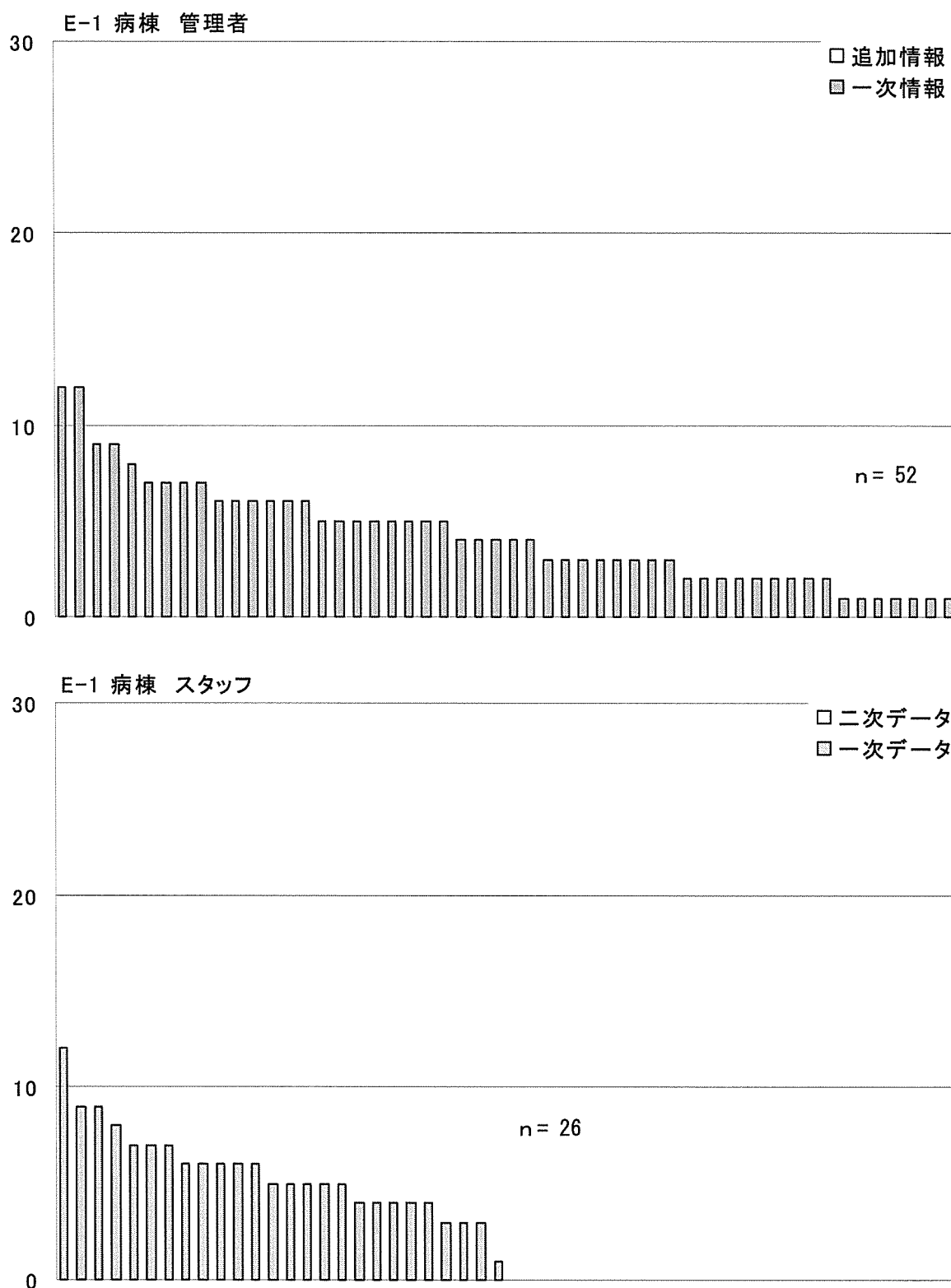


図 5-1 看護職役割別の患者把握データ数 (E-1 病棟)

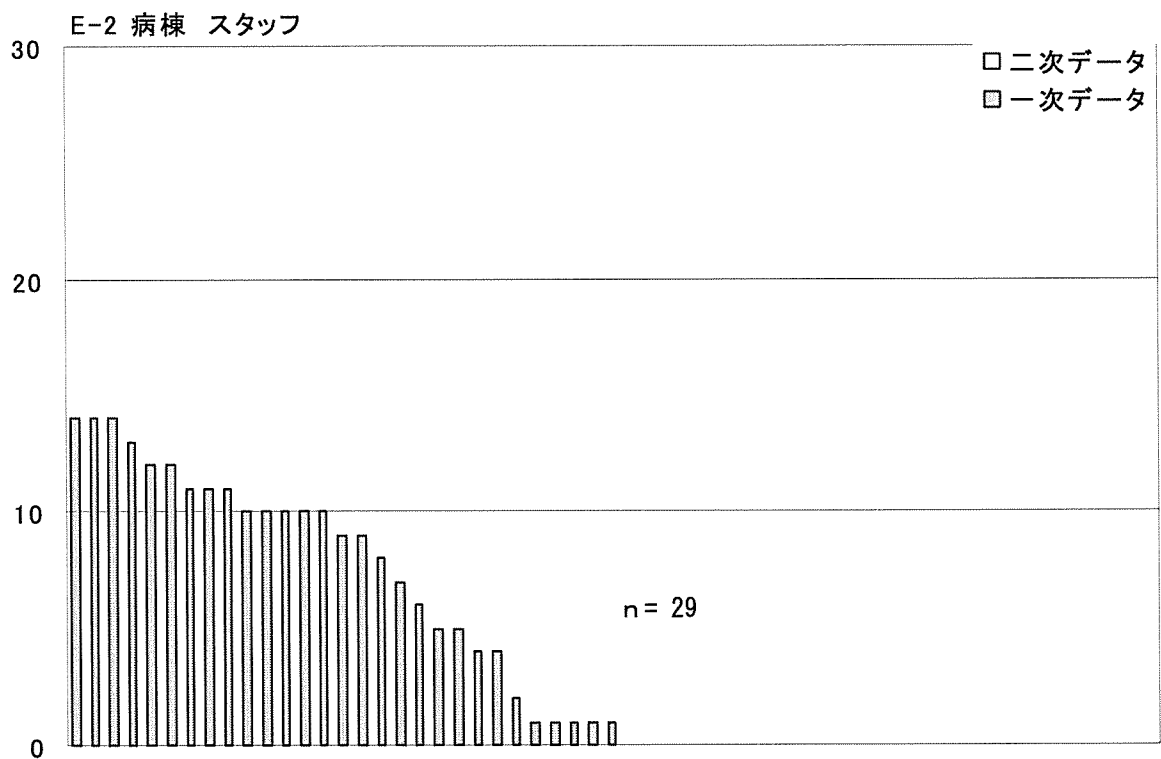
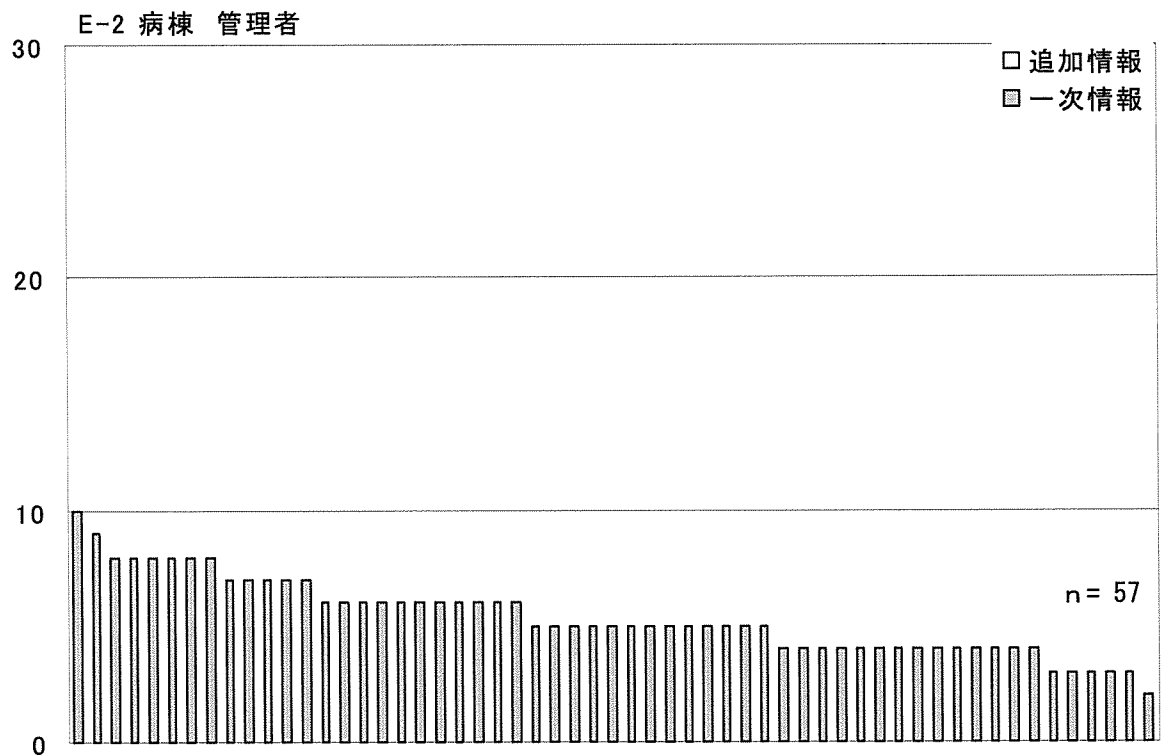


図 5-2 看護職役割別の患者把握データ数 (E-2 病棟)

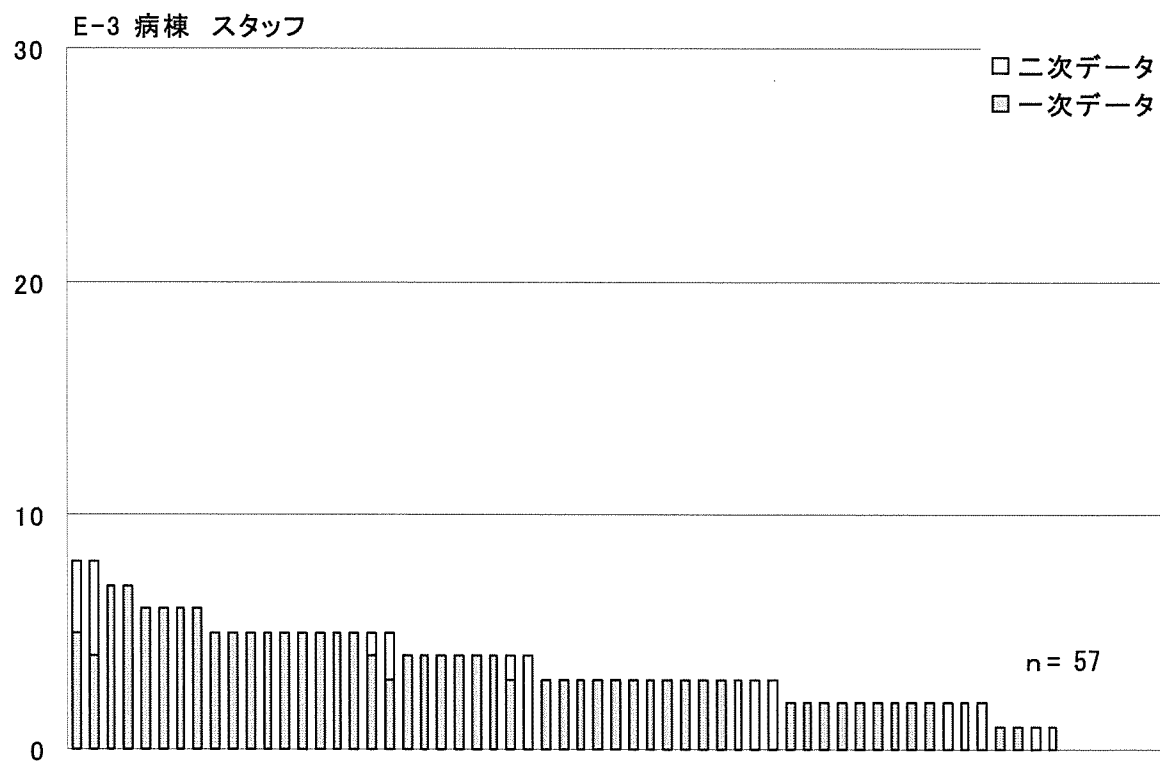
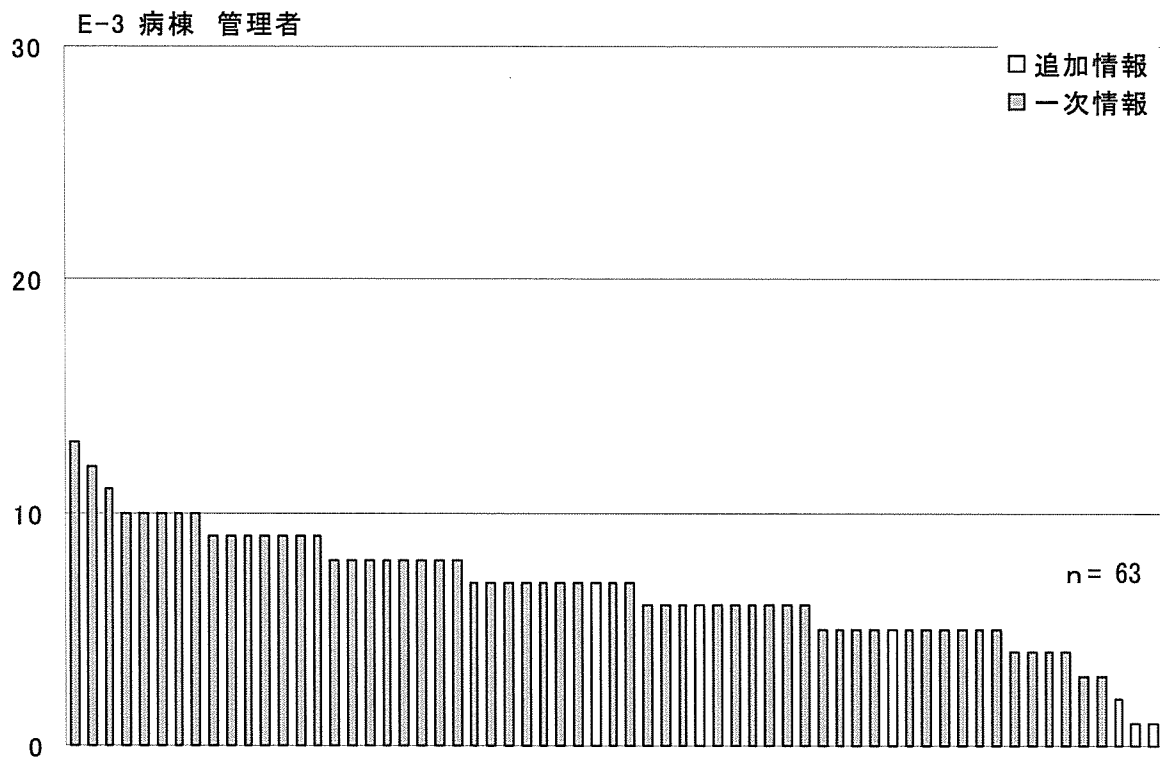


図 5-3 看護職役割別の患者把握データ数 (E-3 病棟)

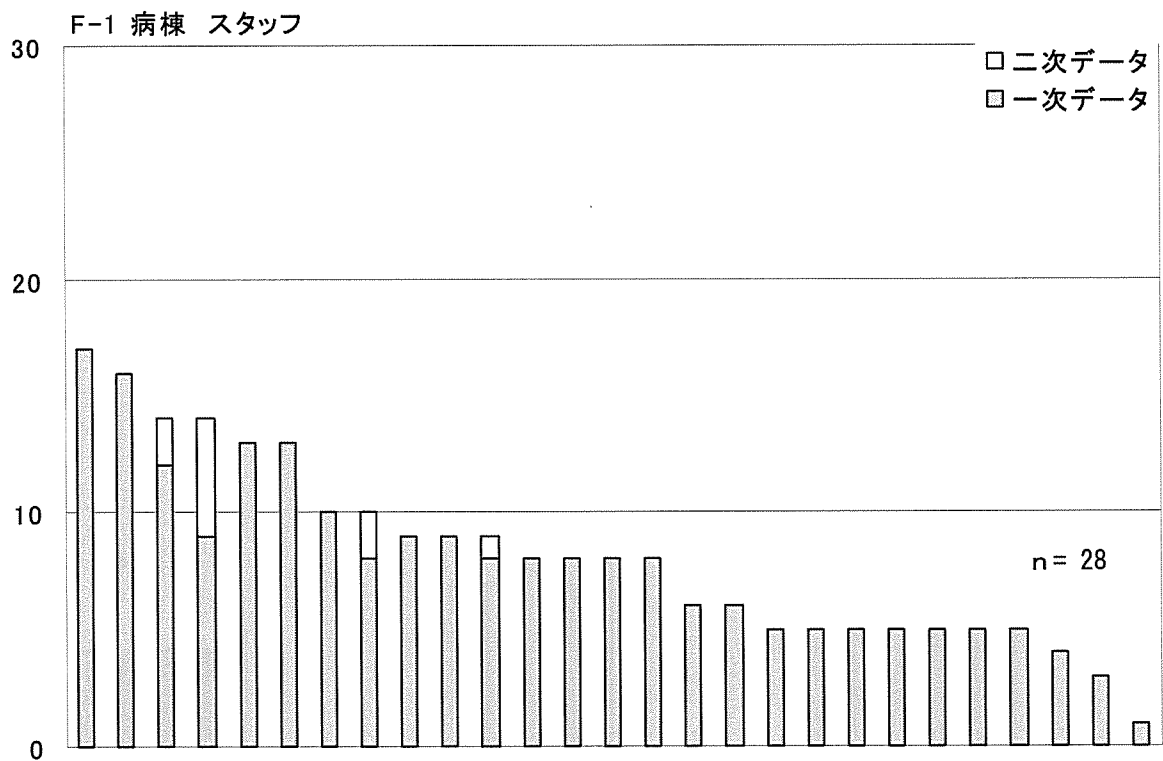
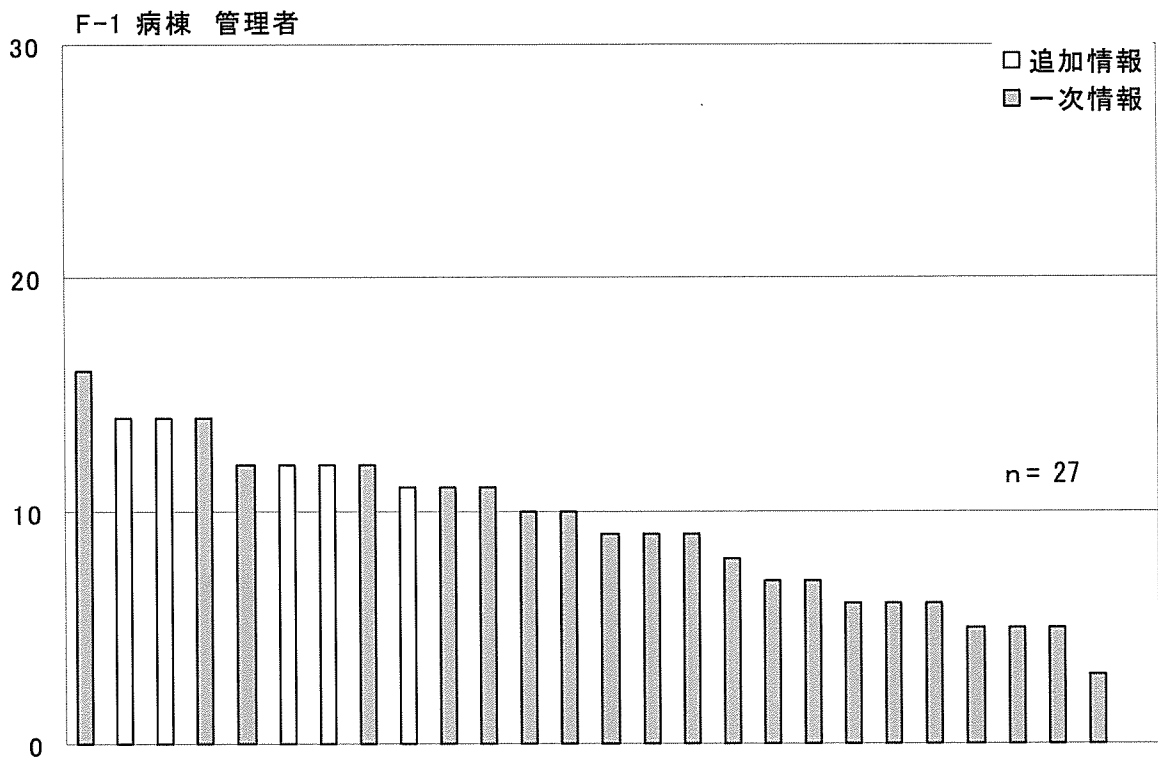


図 5-4 看護職役割別の患者把握データ数 (F-1 病棟)

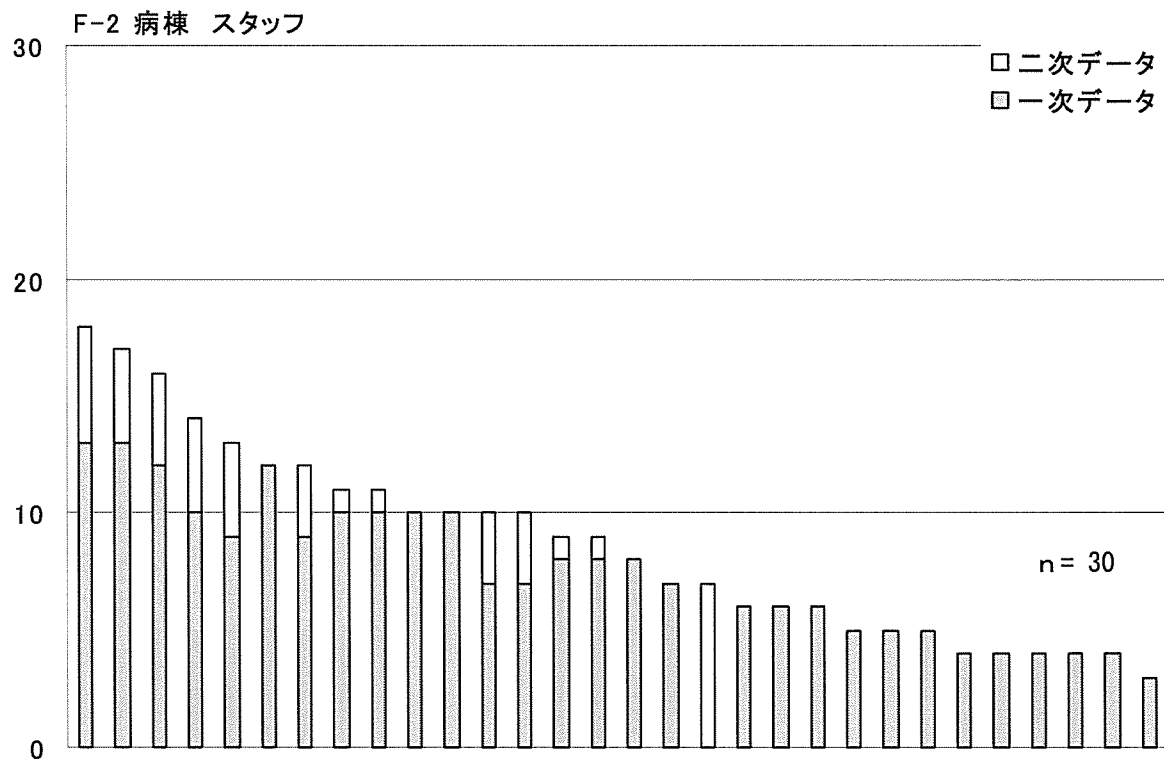
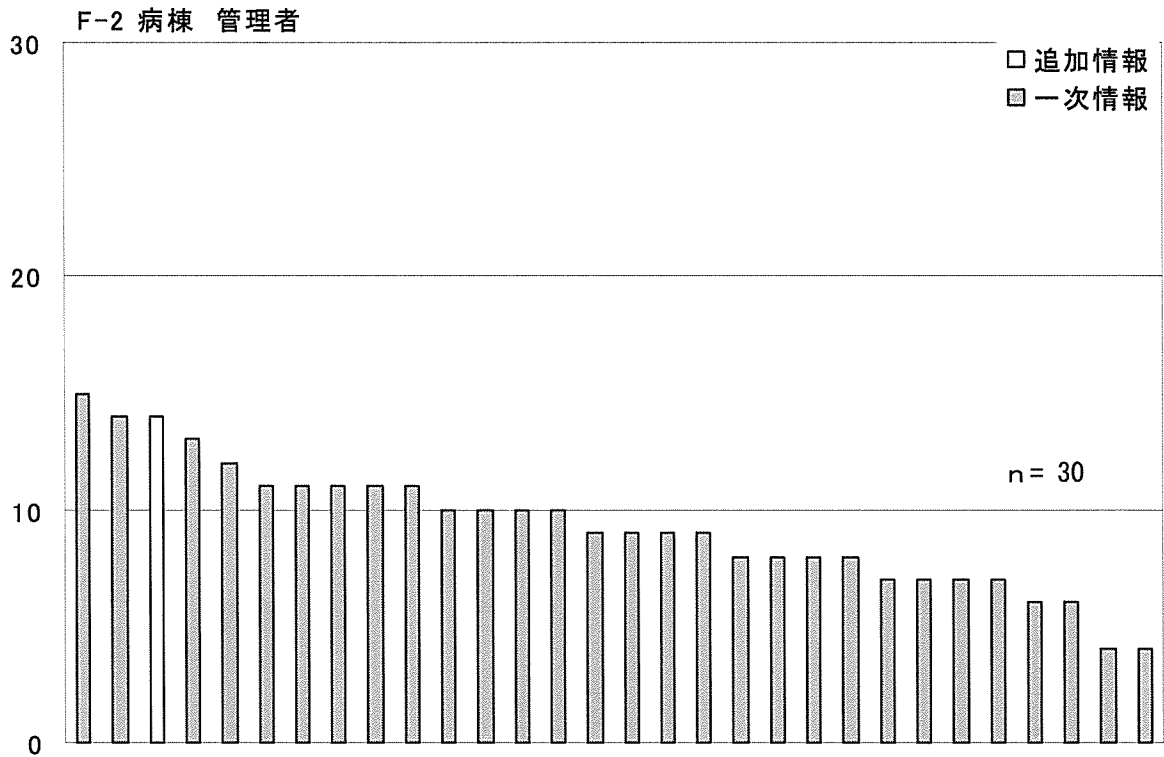


図 5-5 看護職役割別の患者把握データ数 (F-2 病棟)

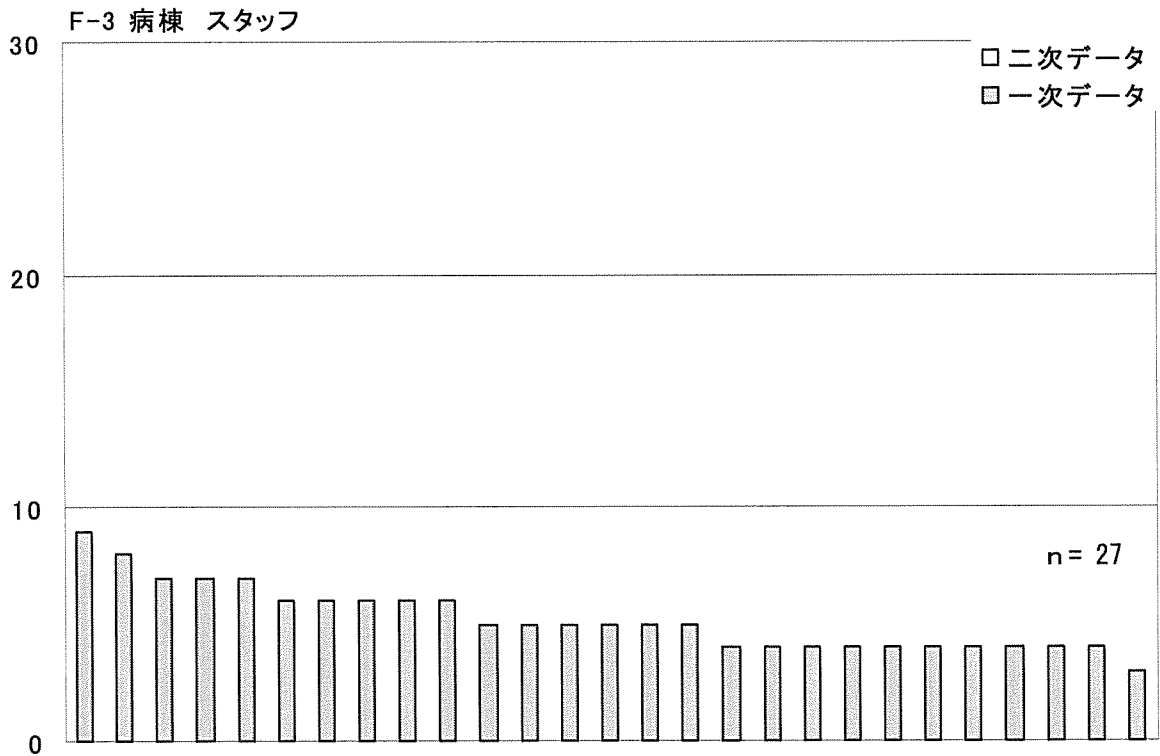
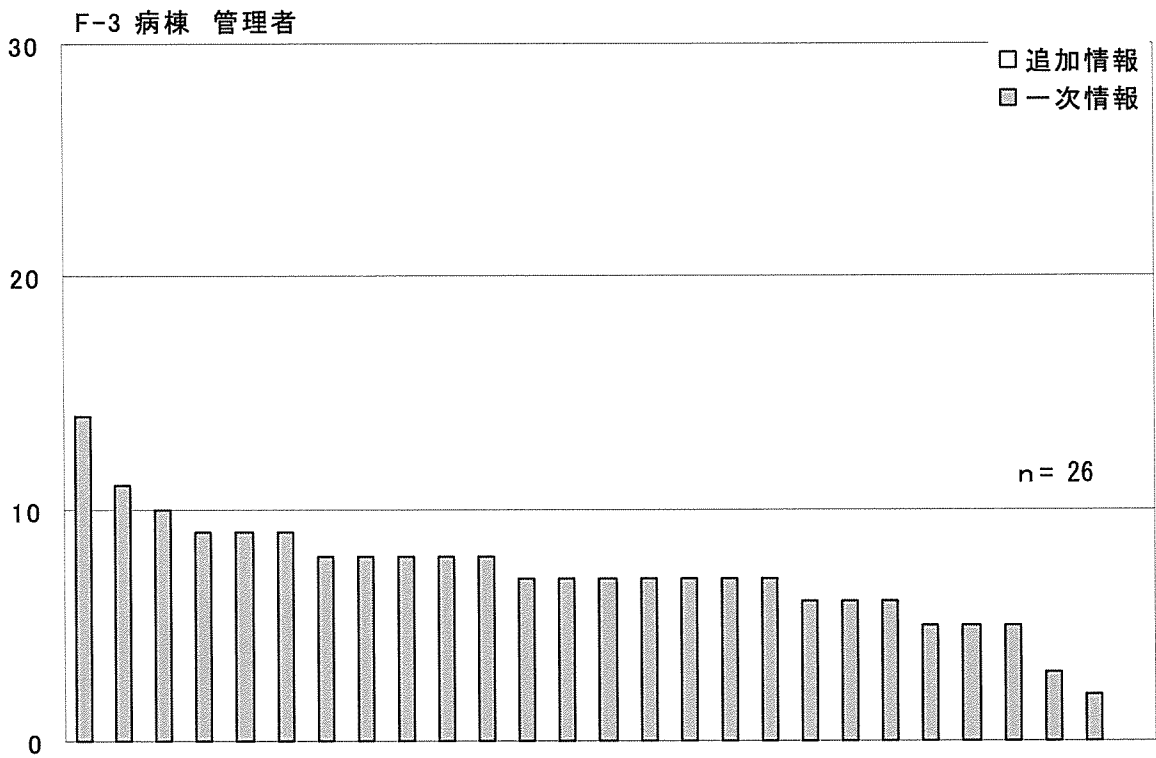


図 5-6 看護職役割別の患者把握データ数 (F-3 病棟)

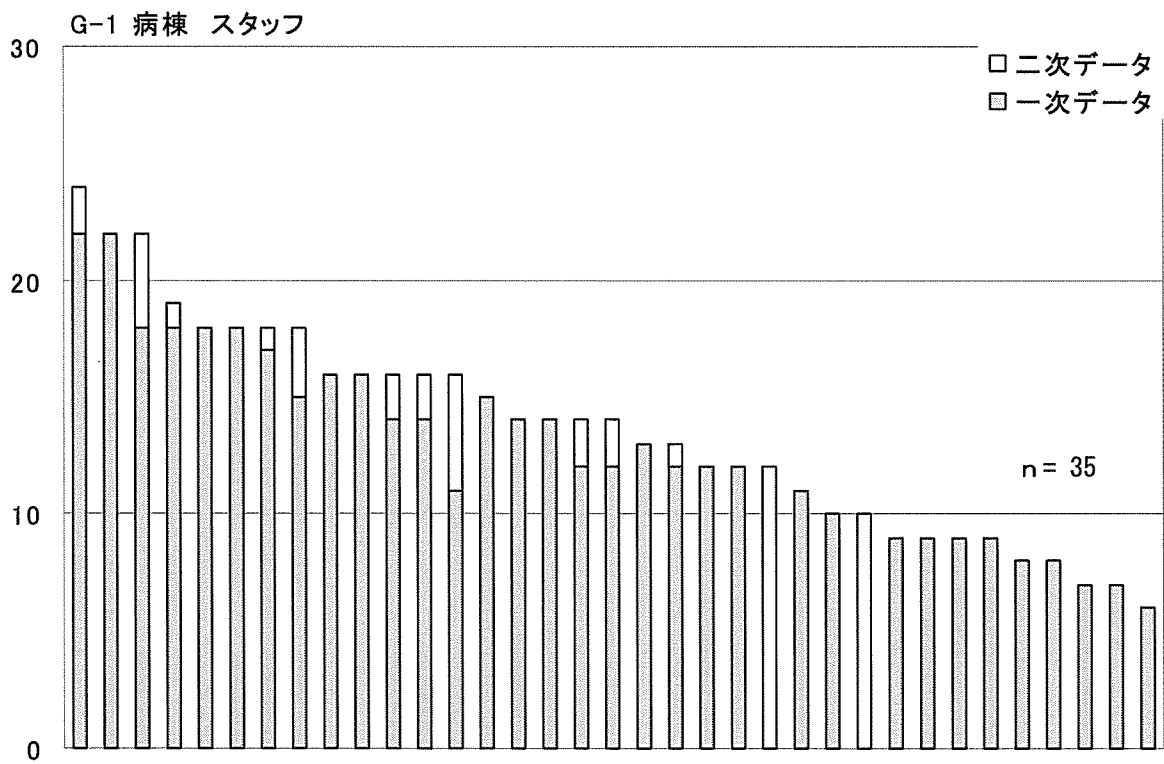
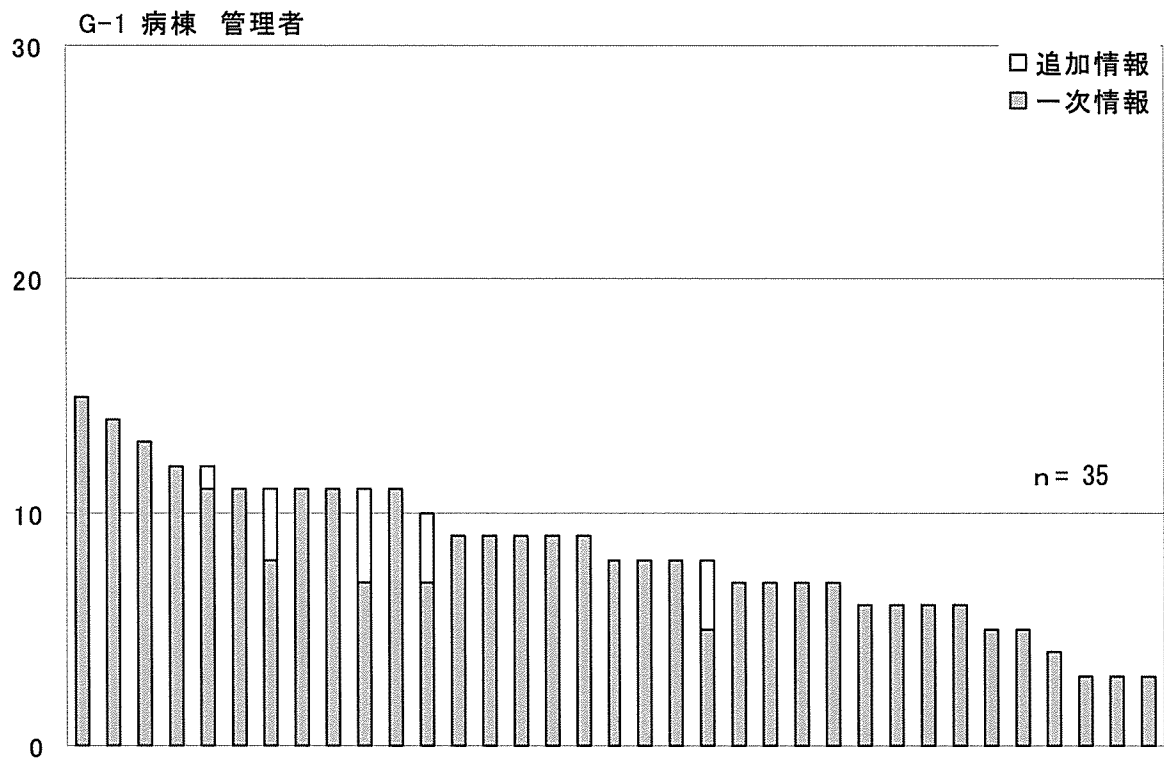


図 5-7 看護職役割別の患者把握データ数 (G-1 病棟)

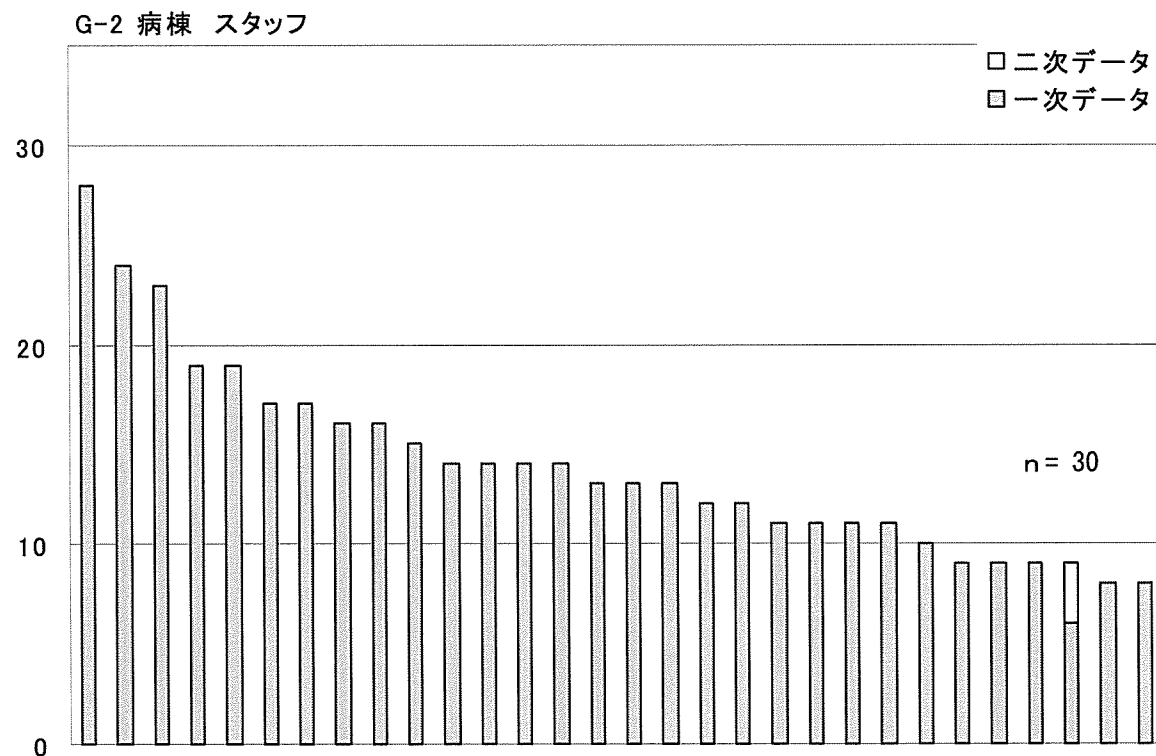
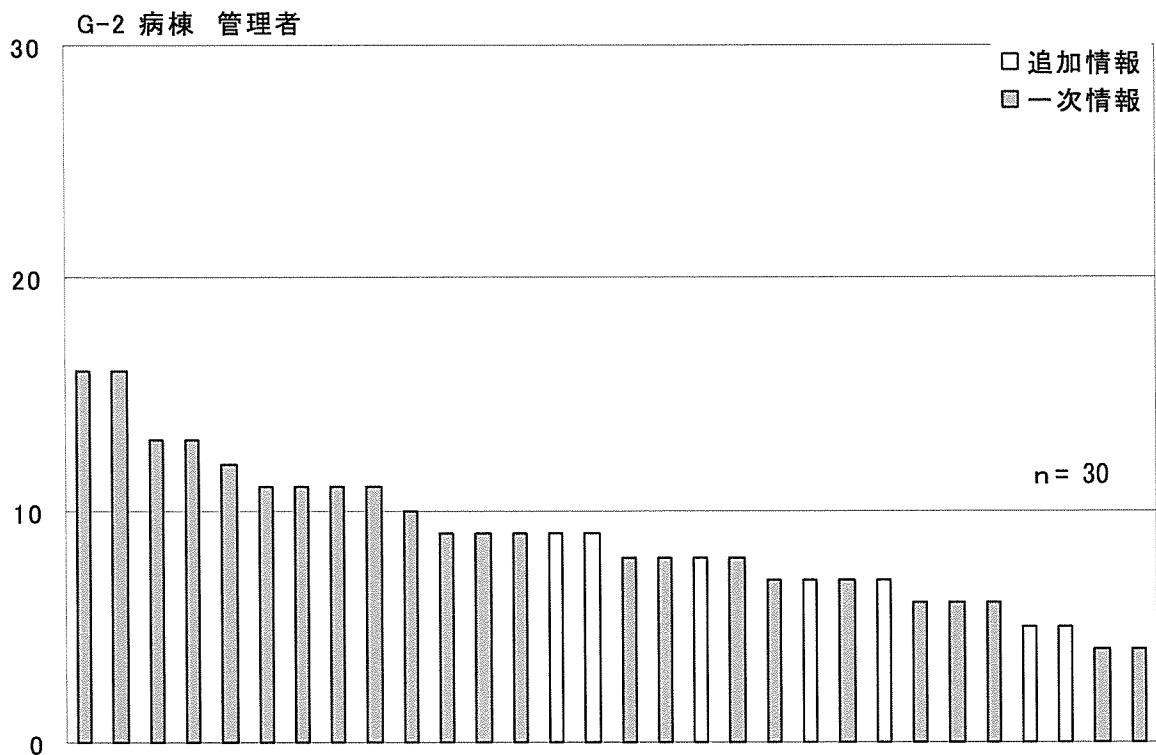


図 5-8 看護職役割別の患者把握データ数 (G-2 病棟)

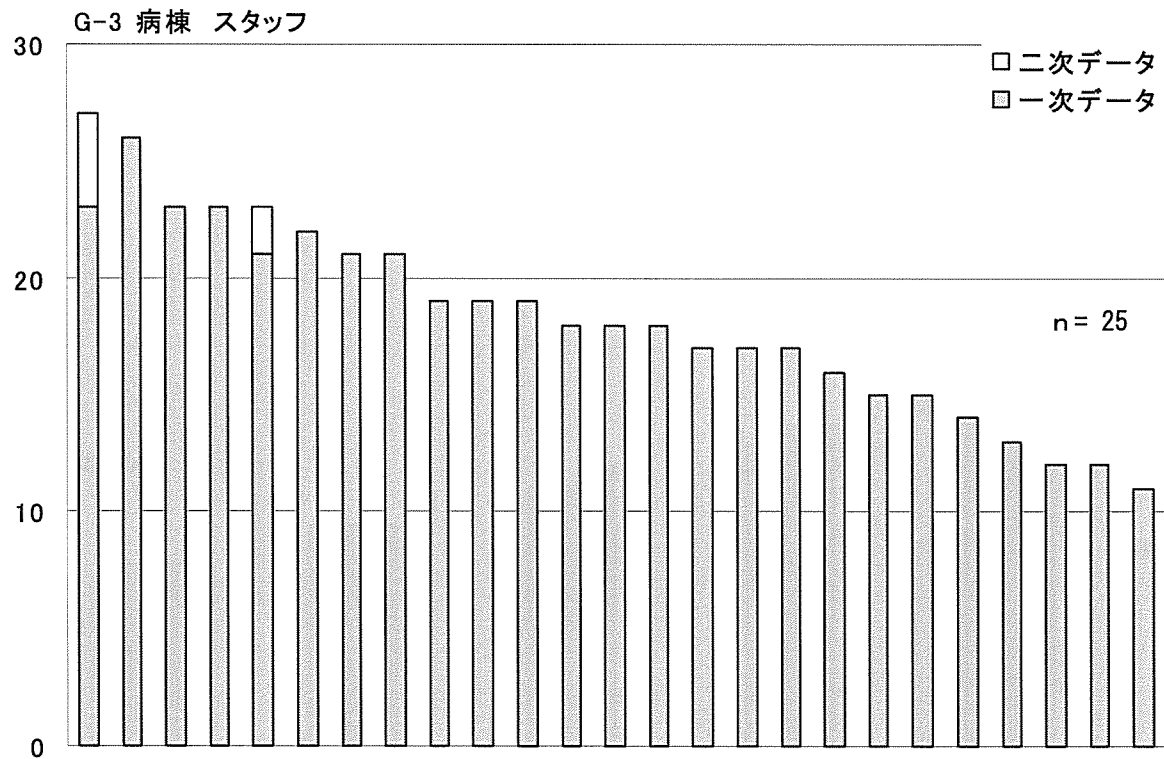
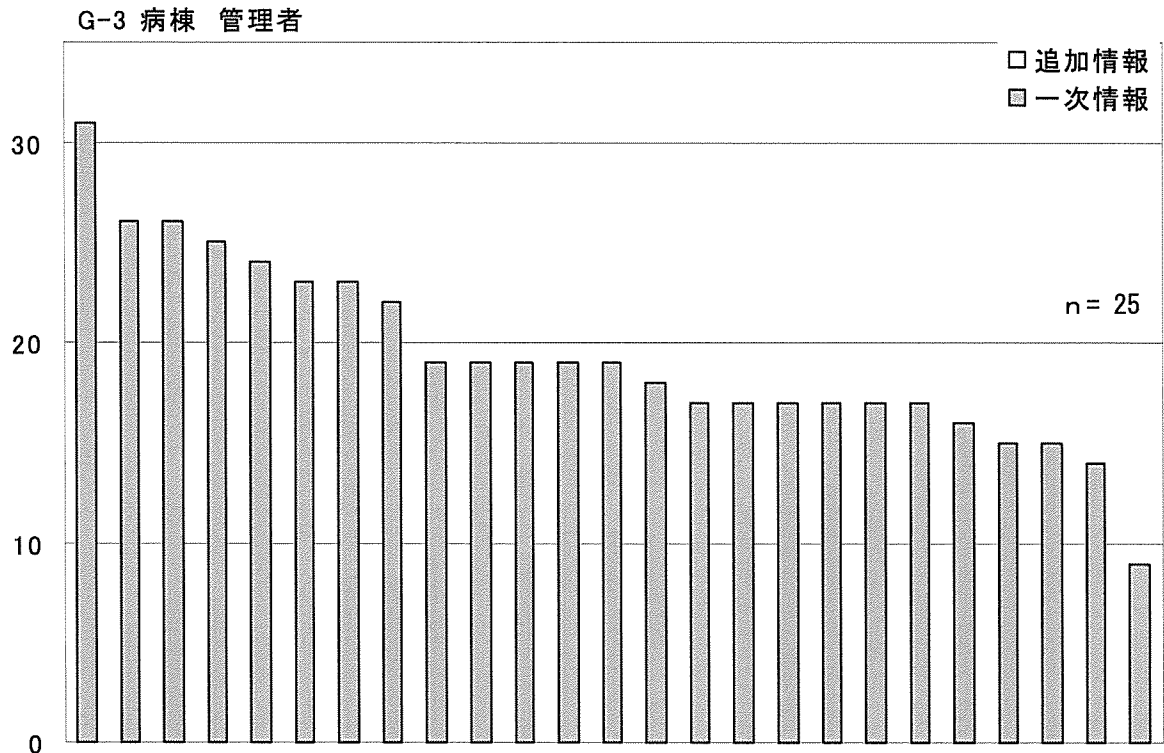


図 5-9 看護職役割別の患者把握データ数 (G-3 病棟)

5. リスクのある患者の病床位置

患者把握データのうち、【リスク】についてのデータがあった患者は33名(9.4%)であり、病棟別では、E-1病棟2名(3.6%)、E-2病棟3名(5.2%)、E-3病棟5名(7.9%)、F-1病棟5名(18.5%)、F-2病棟6名(20.0%)、F-3病棟0名(0.0%)、G-1病棟2名(5.9%)、G-2病棟3名(10.0%)、G-3病棟7名(28.0%)であった。

当該患者の病床位置は、ナースステーションの出入り口に近い位置や物音の聞こえる距離などとなっていた(図6)。

★の位置は、病室および病床位置

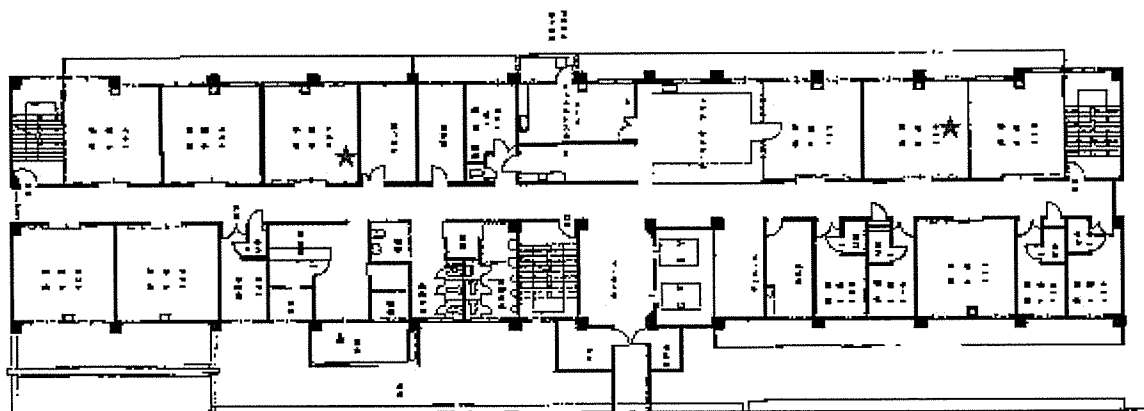


図6-1 リスクのある患者の病床位置①

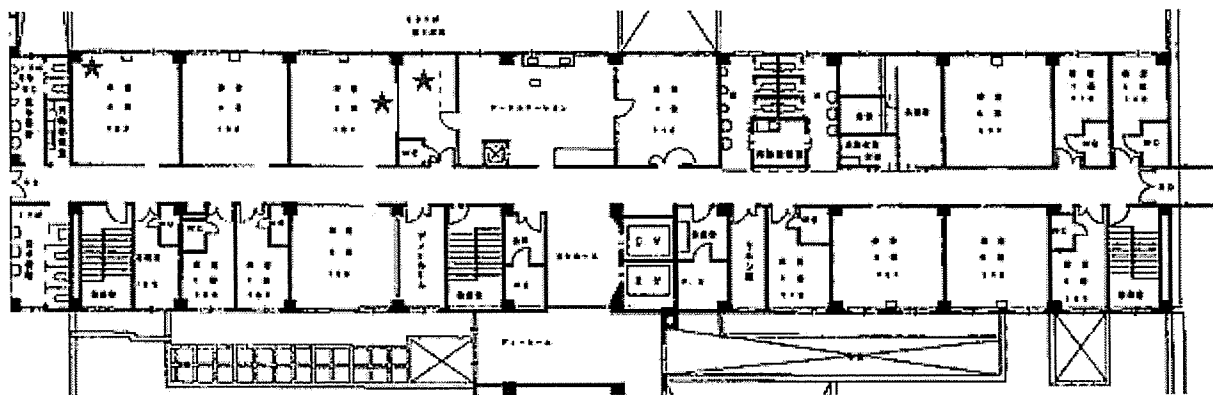


図6-2 リスクのある患者の病床位置②

★の位置は、病室および病床位置

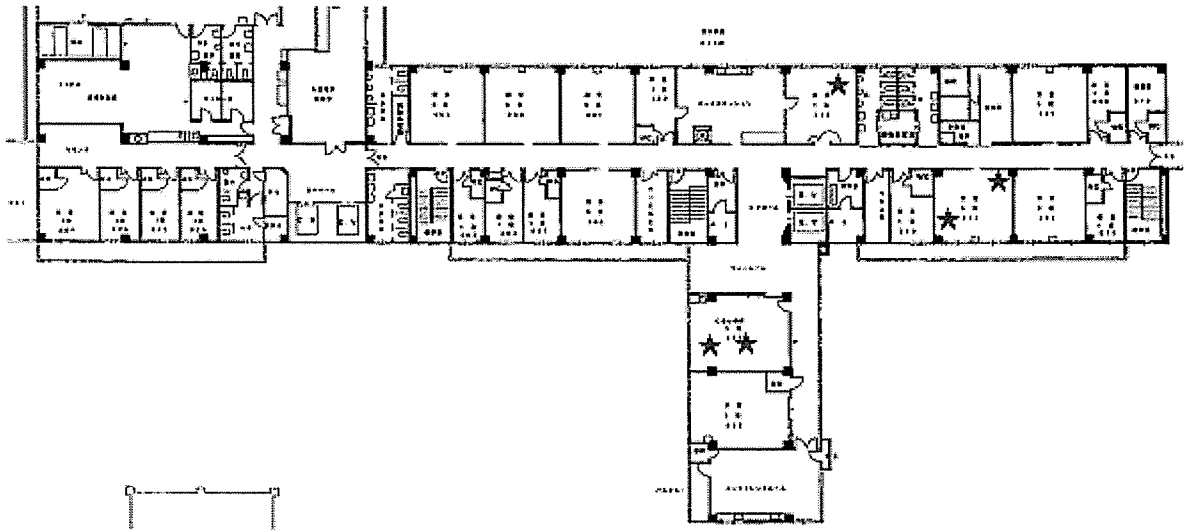


図 6-3 リスクのある患者の病床位置③

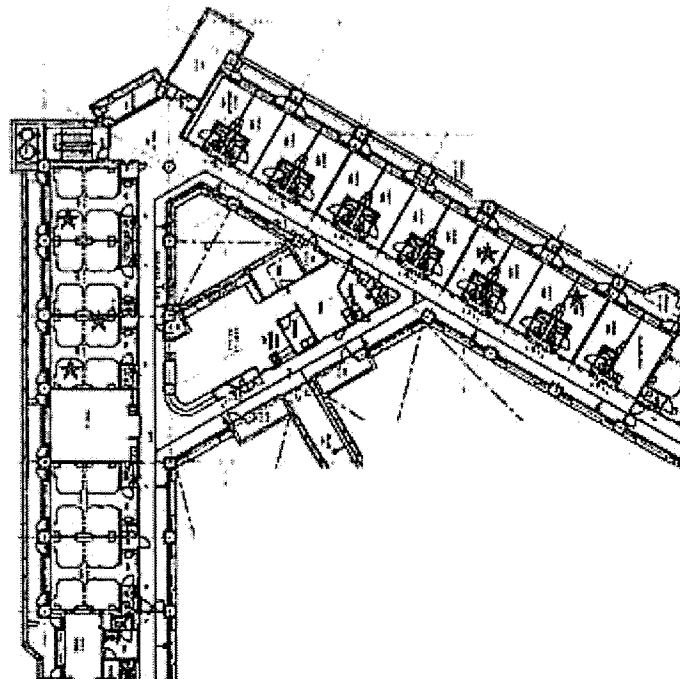


図 6-4 リスクのある患者の病床位置④